

令和7年度第1回「新卒入社時、管理職就任時における社会人基礎力研修カリキュラム開発分科会」
報告

- 1 日時 令和7年 6月18日(水) 15:00～17:00
- 2 場所 産業技術短期大学校 西館棟(西キャンパス) 特別教室5

3 分科会委員

(座長) 上原 歌織 (株)日本人材開発センター
加藤 敏明 (株)就職塾
平山 実 いすゞ自動車高等工業学校
高橋 厚之 東部総合職業技術校
木下公太郎 神奈川県職業能力開発協会
菅原 朋之 横浜国立大学
島村 泰子 キャリア・エンパシー
千葉 香 神奈川産業振興センター
伊藤 靖彦 伊藤経営労務コンサルタント事務所
芦立 延行 (株)パーソルクロステクノロジー
歌川亜沙子 (株)宮川製作所
西澤 克巳 TMCシステム(株)

人材育成支援センター(事務局)

田中 暁	人材育成支援センター所長
高松 徹	〃 副技幹
津久井二郎	〃 主査
植村 道忠	〃 人材育成コーディネータ

*分科会委員の出欠

出席者：上原座長、平山委員、高橋委員、菅原委員、伊藤委員、千葉委員、西澤委員
(人材育成支援センター 田中、高松、津久井、植村)

4 内容

ア 事務局より、本分科会についての説明

令和6年度に実施した「人材育成に係るニーズ調査」に基づき、これまでの新卒入社時での研修とともに、管理職就任の時期におけるタイミングでも自分を振り返るために社会人基礎力研修を活用することが見直しされており、本分科会を立ち上げることになりました。

本日(6/18)を第1回として、11月まで計6回を予定しておりますし、出来上がったカリキュラムや資料、ワークシートを用いて、12月には試行講座を開催し、今年度中に報告書を作成する予定です。

本分科会の委員には、配布しております名簿の通り12名の方をお願いしており、座長として(株)日本人材開発センターの上原歌織様をお願いしております。

連絡方法については、委員全体への場合BCC、各委員については通常メールにて行います。

イ 座長の紹介について

上原様は、研修講師40年以上（国土交通省、総務省、国税庁、神奈川県／水道局、横浜市教育委員会、社会保険事務所、交通局、他多数）、また多くの神奈川県職業訓練カリキュラム等開発研究会座長やスキルアップセミナー講師を務められております。

ウ 研修プログラムの基本について

最初に開発コンセプトとして、講座名や研修のねらい、研修対象者、研修目標、チェックポイント、2日間のカリキュラムや講義と個人・グループワークなどのプログラム構成を検討してもらいます。イメージ作りのために（資料2）に例示してあります。

エ 社会人基礎力について

代表的なチェックシート例（資料3）と平成29年に新たに定義された人生100年時代の社会人基礎力の考え方（参考）を配布してあります。

オ 座長より事例紹介

コンサルタントをしている会社での例ですが、職業訓練校出身でPC利用が非常に上手で、とにかくきれいに仕上げたいと思っている人がいて、ただ上司の指示もメモを取らない、挨拶もできない、聞きもしないで勝手にPCのデータを消去したりとまさに報連相というか社会人の基礎が出来ていない社員がいました。

カ 社会人基礎力について意見交換

- ・本来課長がやるべき仕事なのか、何をやったらいいかわかっていない、部長もできていない、マネジメント力とは。
- ・女性の経理主任が、上司に敬語を使わない、イライラしてアメを何個も口に入れてカラカラならして上司からウルサイとよく言われている。その主任がいつの日からか、上司の隣に座りたいと言いつ出したほど、そのようなウィークポイントを見つけることに、改めて社会人基礎力が活用できた。
- ・直接要求されない仕事も“気づき”で追加仕様にしてみたら、客から喜ばれたことなどプラスα、一工夫できることが光ることもある。
- ・知識で覚えるより、体で覚えることが重要。
- ・社会人基礎力は新人にも管理職にもどっちにも使えるのだと思う。
- ・内燃化から電動化へと移ってきたので、新しい部門を設立したが、それをマネジメントする人がいないし育てる時間もない、なのでできる人を公募で連れてくることにしている。
- ・自分自身がこうしたいと思わなければ、いくらコミュニケーションやら主体性を学んでも前に進めない。自分を変えることが必要、その気づきが必要。
- ・コンピテンシー研修も重要。
- ・目的、目標がない人が多い。
- ・自分の行き先がない人は、先に進めない。気づきが必要。
- ・偉くなりたい、一番になりたいと思う人がいなくなってきたが、何かやる気を出す方法がないか。
- ・具体的に自分のレベルと期待を書かせ、皆の前で話すことが役に立つこともあった。
- ・自己理解がないと進展はない。自己を理解すると課題が明らかになる。対応を検討できる。

- ・気づきがあっても行動に結びつかなければ意味がない。
- ・自分の事として考えられないと理解が不十分になり、パワハラ等ハラスメントがなくなる。
- ・価値観が違うことを理解し合う環境が大事。

キ 次回（第2回）について

（日時）令和7年7月23日（水）15:00～17:00

（会場）産業技術短期大学校 西キャンパス特別教室5

（内容）「社会人基礎力の具体的事例を考え、自己理解と行動指針のポイントについて整理します。」

以上